

かしま HOT 通信

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、

QRコードを読み取り、アクセスしてください。
PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。

3月号

Vol.362

令和5年（2023年）3月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室

■発行/社団医療法人養生会

〒971-8143

福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢22-1

tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。

かしま病院広報企画室まで

kouhou@kashima.jp

1
2
3
4
卷頭特集

第98回常磐医学会

～演題発表者による参加報告～

糖尿病のおはなし

『ノンカロリー、カロリーゼロは、Okcal?』
かしま糖尿病サポートチーム

コラム ひんがら目 (189)

『金融緩和と日銀総裁
経済学と数学の結びつき
金融工学と確率論』

呼吸器科 部長 山根 喜男

ようこそ家庭医療へ!

リハビリPOST

2月の病院給食

かしま荘通信

**第98回 常磐医学会にて
「常磐医学会部門賞」を頂きました！**



令和5年2月18日(土) 於 いわきワシントンホテル

医療専門職からの報告部門におきまして、演題「いとちプロジェクトの活動報告」(広報企画室・長岡)が「常磐医学会部門賞」を受賞いたしました。

今回の受賞を励みとし、これからも地域の患者様のため、面倒見の良い病院を目指し努力して参ります。

卷頭特集

第98回 常磐医学会 ～演題発表者による参加報告～



常磐医学会にご存じですか？

令 和5年2月18日にいわきワシントンホテルにて
第98回常磐医学会が開催されました。かしま病院
より計4名の職員が演題発表を行いました。
3月号卷頭特集では、演題発表者からの参加報告を
掲載しました。ぜひご覧ください。

※常磐医学会の歴史情報はいわき市医師会
会員の協力を得て、平成13年9月発行
の「いわき市医師会報三十周年記念号」
14頁記事より抜粋しております。

昭和23年、東北大学医学部矯正
医学研究所が、旧常磐炭鉱湯本病
院(現いわき湯本病院)に付設され、
毎月大学の教授による診療指導や
講演が開催された事がきっかけと
なり、炭鉱医学集団会が発足した
のが始まりです。

昭和30年に、「常磐医学会」と名
称を変え、浜通り医学会として発
足。当時は、南は茨城県北部・北
は相双地区の病院を含む23病院が
参加し、医師が演題発表を行う大
きな学会でした。当初は、年2回
月曜日の朝から夕方までの講演で
したが、時代の経過と共に、年1
回土曜日の開催となりました。炭
鉱医学集団会が発足してから70年
余りの歴史を持ついわき市の常磐
医学会。現在は、いわき市内の病院・
診療所等の医師だけではなく、医
療を支える医療専門職等も演題発
表や交流が行える多職種参加型の
学会に生まれ変わっています。

これまでのいとちの活動を紹介
します。病院職員、研修医、医学生
地域住民の方々が参加し、医療や
地域(地元)への想いや、これから
の地域医療について話し合う対話
型のワークショップ「いとちかい
ぎ」を計4回、開催しました。また、
小名浜地域包括支援センター様と
の共同企画で、鹿島地区の住人を
対象とした体力測定会の開催や、
地域の方々にご協力いただき、か
しまホーム前に置く看板やベンチ

演題
**いとちプロジェクトの
活動報告**

人事課兼広報企画室
長岡真美

- 事務部券広報企画室
江坂 亮 蓮沼 京太郎 大平 佳央
- 診療部
渡邊 聰子 中山 文枝

2
に続
く



今回は当院回復期リハビリ病棟の取り組みについて、実績を交えて、がら発表させてい

演題 当院回復期リハビリ 病棟の取り組みについて

リハビリテーション部
作業療法科
大平 詩織

ただきました。当院では2003年に浜通りで初となる59床の回復期リハビリ病棟を開設、2019年10月からは365日リハビリを提供しています。2022年12月からは回復期リハビリ病棟では最も高い入院料1の基準を満たしています。脳血管疾患・重症度の高い患者様が多い中で、入院初期より医師を含めた多職種で早期退院に向けた準備を進めるとともに、当院通所リハビリや訪問リハビリとも密に連携し、在宅・地域への移行に切れ目のない支援を行っています。手厚い人員体制を敷き、幅広い年齢層のスタッフで、子育て世代も協力しながら365日病棟運営を行っています。

コロナ禍で何かと「ミユニケーション」が不足しやすい中で、より情報共有という点を意識しながら業務にあたっています。ご家族や地域スタッフと、入院中から患者様の情報を小まめに共有することを心がけ、時にはタブレットを使って訓練や日常生活の様子を映像として見ていただくような工夫をしています。365日リハビリを開始するにあたっては、勤務調整に難儀する部分もありましたが、スタッフが一丸となり補い合いながら、働きやすい環境調整・体制の構築に努めています。

今回このような機会をいただき、改めて当院回復期リハビリ病棟への理解を深めるとともに、回復期リハビリ病棟のあり方、自身の役割を再認識するきっかけとなりました。ありがとうございました。

回答が過半数(2008名・58%)を占め、喫煙率は10%(34名)でした。受動喫煙に関しては355名(99%)が知っていると答えましたが、非喫煙者でも142名(40%)があまり気にしていないと答える回答でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

（68%）が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

（68%）が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

（68%）が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

（68%）が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

（68%）が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。今回の受動喫煙に関する情報提供後は、239名(68%)が受動喫煙に関する意識が変わったと回答を得ました。また、スポーツ・イベントを観戦される方の喫煙率は地域内住民の喫煙率より1/3程度と低い結果でした。

演題 当院の プライマリ・ケア教育 の変遷 ～教育は爆発だ！～

診療部 総合診療科 石井 敦

●総合診療科

石川 拓磨 永井 拓 原國悠
山口 洋太 渡邊 聰子 藤原 学

これまでの日本

の医学教育は、主に臓器別に専門分化し発展してきましたが、多疾患併存患者や終末期ケア対象患者が多い超高齢社会では、臓器横断的に総合的に診ることができる医師が求められています。



かしまホームは2月から3月にかけて改修工事を行っています。4月からはもっと活動の幅を広げていく予定です。今後の活動予定としましては、

- 研修医や医学生の宿舎として活用し、地域医療の実践の場とする
- かしまホームを病院のリハビリの生活訓練の場とする
- 地域のニーズに合ったイベントの開催
- 職員と共にできる企画

を考えていました。ひとちは、病院と地域がお互いに寄り添える存在でありたいと想いを持つて活動しています。興味がある方は、広報企画室までご連絡ください。一緒に活動しませう！

福島県では受動喫煙防止対策の県民運動として、県医師会を中心に関民一体となり県民全体に働きかけるイエローグリーン・キャンペーンを行っています。イエローグリーン・キャンペーンは、「受動喫煙をしたくない・させたくない」という気持ちを表すシンボルカラーです。いわき市では2020年よりいわきFC（現在J2在籍）といエローグリーン・キャンペーンを開催してきました。今回の発表では2022年5月に行われたホーム・ゲームにおいて、試合開始前に入場ゲート付近で受動喫煙に関する情報提供と参加者意識調査を行った結果について報告を行いました。

これまでの日本

の医学教育は、主に臓器別に専門分化し発展してきましたが、多疾患併存患者や終末期ケア対象患者が多い超高齢社会では、臓器横断的に総合的に診ることができる医師が求められています。

これまでの日本

の医学教育は、主に臓器別に専門分化し発展してきましたが、多疾患併存患者や終末期ケア対象患者が多い超高齢社会では、臓器横断的に総合的に診ることができる医師が求められています。

演題 地域スポーツ・イベントにおける受動喫煙予防キャンペーンの効果

診療部 中山文枝^{1,2}

田端 朋子², 藤原 学², 石井 敦²
中山 大^{1,2}, 齊藤 道也^{1,3}

1. 一般社団法人 Tobacco-free ふくしま
2. 社団医療法人養生会かしま病院
3. みちや内科・胃腸科



これまでの日本

の医学教育は、主に臓器別に専門分化し発展してきましたが、多疾患併存患者や終末期ケア対象患者が多い超高齢社会では、臓器横断的に総合的に診ることができる医師が求められています。



これまでの日本

○糖尿病のおはなし

かしま糖尿病サポートチーム



ノンカロリー、カロリーゼロは、0kcal

栄養食事指導の時に患者さんから
「カロリーオフの飲料は、カロリーはないの
ですか？」

「カロリーゼロは、本当にカロリーゼロなのでしょうか?」

と聞かれることがあります。

1日のエネルギー量(炭水化物)が過剰にならないように、また血糖上昇を穏やかにするためにも、エネルギーを控える工夫がされた食品の利用をお勧めです。

しかし、エネルギーを控えた内容の栄養成分が表示されていても、実はそうでない場合もあります。

市販されている清涼飲料水を例にすると、栄養表示基

準では 100ml 当たり 5kcal 未満であれば「カロリーゼロ」「ノンカロリー」と表示してよいことになっています。これは、500ml であれば 25kcal 未満（砂糖 6g スティックシュガー 2 本分）を指します。

また、100ml 当たり 20kcal 未満であれば「低カロリー」「カロリー控えめ」と表示してよいことになっており、これは、500ml であれば最大100kcal(砂糖 25g スティックシュガー 8本分)も含むということになります。

これらの栄養成分が表示されている食品を選ぶ際には、ちょっと立ち止まって、確認してから楽しみたいものですね。

かしま糖尿病サポートチーム 栄養課 野村 理絵



金融緩和と日銀総裁
経済学と数学の結びつき
金融工学と確率論



た。先日伊藤清先生著の「確率論と私」を読んだところでした。清先生の「伊藤の定理」は、金融工学の理論に道を開き、デリバティブに関するブラック・ショールズ式を導いたマイロン・ショールズ氏はノーベル経済学賞を受賞されました。伊藤清教授は経済学には無関心で御自身の定理と経済学理論との関連については否定的だったそうですが、金融工学の分野には数学者が多大なる影響を与えたようとして、バブル経済が破綻したときにはかなりの数の数学者が責任を感じたようです。

社会的共通資本の概念を提唱された宇沢弘文先生も、数学科から経済学に進んだ高名な先輩でした。ノーベル賞候補ともいわれていました。

このように、経済学は数学に支えられているわけでして、あたらしい日銀総裁の植田和男先生も数学科を卒業したあと経済学部に学士入学されたそうです。経済学者として業績を積み始めたのでしょうか、スマートな数学理論が現実生活にそのまま当てはまるかどうかには疑問符がつきます。

効率至上主義が余裕のない窮屈な社会を招来し、高度なＩＴ化が独裁国家を産み、G A F Aなどの巨大企業が国家をコントロールするようになりました。スマートな社会はスマートな人には快適かも知れませんが、多数の凡人には追いついて行くだけで精一杯です。人それぞれの能力に応じてそれなりに満足のゆく「足るを知る」社会の実現にむけた、賢い国づくり、ワイヤーな人づくりの方がよいように思います。

な数学理論が現実生活にそのまま当てはまるかどうかには疑問符がつきます。効率至上主義が余裕のない窮屈な社会を招来し、高度な I.T. 化が独裁国家を産み、G.A.F.A などの巨大企業が国家をコントロールするようになりました。スマートな社会はスマートな人には快適かも知れませんが、多数の凡人には追いついて行くだけで精一杯です。人それぞれの能力に応じてそれなりに満足のゆく「足る」を知る」社会の実現にむけた、賢い国づくり、ワイスな人づくりの方がよいように思ひます。

ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医育成への挑戦～



先日、いわき市主催の介護予防教室の講師を務めさせていただきました。「介護予防のための生活習慣について」という、なんでもありの大変広いお題を頂戴したので、当日、実際の参加者の皆さんのご様子を確認しながら、ニーズに合わせたお話をした方が良いと思い、事前に綿密な準備をすることは諦め、台本なし、スライドなしのぶつけ本番一本勝負に挑みました。

当日、とても健康意識が高く熱心な参加者の皆さんに囲まれ、パンフレットに書いてある内容を私が解説する必要はないと思った。そこで「よりよく生きるためにどうしたらいいか?」といった医学というよりは哲学的なテーマで、インテラクティブな議論を進め、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

第157回 最強の介護予防とは?

石井 敦 病院長



結果、「自分が変われば何かが変わる」という結論にたどり着きましたが、理想的な行動をし続けることができる人は殆どいないので、成功するためには、個々の事情を考慮して、実現可能な作戦を立てる必要があります。例えば、私の場合「酒と肴は我慢できなくても、スイーツや締めのラーメンは我慢できる」「旨い酒を飲むためなら沢山走ることは苦ではない」等。そこで、参加者一人ひとりに「自分が取り組み始めることができて、かつ継続できること」を、それぞれ考えていただきました。既に取り組み始め、続けている健康体操を紹介してくださる方もおられ大変感心しました。

今回の最大の成果は、参加者のお一人に禁煙宣言してくださいった方がおられたことです。これは最強の介護予防効果が期待できます。ふと気になって、当日主催者から参加者に配布された既成の介護予防のパンフレットを確認しましたが、介護予防における禁煙の重要性について明記されていなかったのは意外で残念でした。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する石井敦病院長は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第144回

家屋調査について

状況をあらかじめ知っておく必要があります。そこで今回は、私たちリハビリスタッフが行っている「家屋調査」についてお話しします。

患者様が自宅へ退院される際には、身体機能に適した家屋環境に整っている必要があります。患者様の中には、段差を昇れない方や、歩くために手すりが必要な方がいらっしゃいます。その場合、リハビリスタッフが患者様の自宅へ出向き、事前に家屋状況を把握して、必要な福祉用具や家屋改修の提案を行います。トイレ、

リハビリにとって、退院後の生活に向けて、患者様の身体機能を回復させることはもちろん大切な仕事ですが、自宅へ退院する際に、安全に快適に生活できるようにすることも大切な仕事です。そのためには、患者様の自宅の

浴室、寝室、台所など、本人様が生活する範囲を中心に、生活する上で不便になる点はないか、危険な点はないかを確認して対策を考えます。例えば、上がり框が高い場合は近くに手すりを取り付けたり踏み台を設置したりする、お風呂場の椅子が低い時はシャワーチェアの購入を検討するなどです。また、台所で物が取りやすくなるように目線の位置に物を配置する、つまずかないように床に散らばった配線のコード類はまとめておくといった工夫も提案していきます。家屋調査には担当ケアマネジャーや福祉業者の方も同伴し、ご家族、本人の意向に沿った提案をしていきます。

このように、私たちリハビリスタッフは、患者様の身体状況にあった環境を提供するために、家屋調査を行っています。患者様が自宅に帰った後も安全に過ごせるよう、退院に向けてのサポートに努めています。



理学療法士 長岡哉

かしま荘通信

豆まき

2月3日(金)



2月3日節分の日は、年男・年女のご利用者様、職員で袴を着て、豆まきを行いました。「鬼は外〜!福は内〜!」と利用者様達から勢いよく豆を投げつけられ、あまりの痛さに鬼は降参して逃げていきました。

2月の病院給食



節分

稻荷寿司&太巻き寿司、さばの梅焼き、
大豆五目煮、せりのお浸し、フルーツ盛り
合わせ(イチゴ・キウイ)



バレンタインデー

ターメリックライス、ハンバーグトマトときのこソース、クラムチャウダー、彩り野菜のピクルス、チョコババロア&ハートイチゴ

患者さんからは「季節が感じられてとても嬉しいです」や「ハートのイチゴがかわいいですね」といった感想を頂きました。今後も患者さんに見た目楽しくおいしい給食を提供できるよう努めています。